



刊夕日四月五

### 朝香宮殿下を迎へる

#### 小名濱警備隊の光榮

御旅館に當てられる喜び  
御室に費を惜まざる設備

来る七日から一週間石城町に於ても此上なき光榮に郡小名濱町に於て實施の歡び御奉迎に關して夫々協議中である陸軍士官學校生徒の現地警備並に調習に當り設備を終へて御迎への日を御同校御在學中の朝香宮第一王子彦王殿下には士官候補生として右の演習に御參加遊ばされ小名濱町の清酒醸造家警備屋を御旅館に當てさせらるゝに對し同家では申す迄もなれてゐる

### 縣水試場の警備丸は

#### 江名漁業組合へ身賣

六千五百圓で契約済み  
當業船となつて活動する

縣水試船警備丸は別項所報の如く新造されるので現在の試験船を常に密漁船の爲め奔走される原釜常置の監視船船島丸に移してはとの説もあつたが同沿岸には之れを容れる好所なく江名漁業組合へ六千五百圓で譲渡することになつてゐるが早速六海里半を有する同丸で試航することになつてゐる

### 新造する本縣水試船

#### 期待される海の指導

百廿噸二百五十馬力の鐵船  
九海里の平速力で活動

本縣に於ける海洋漁業は年々莫大な發展を東北屈指の漁業

地に敷えられて来たが縣でも非常な發展で七万三千八百圓を豫算する水試船の新造は去る二月鶴見野造船所に契約し去月二十六日起工式を舉げ六月十日進水の豫定を以て建造中であるが新船は百二十噸二百五十馬力の鐵船で現在石城郡農會の植田、泉方部中堅現地講習は六日午前十時から行はれるが講師は青田村大宇夫澤田和子四四安之助九男佐々木重光(四)で最近まで東京でテニスをしてゐたが數日前突然歸郷し三日午後二時頃、父親の留守を窺つて警備を破壊し現金三百六十圓及び一萬二千圓記入の農工銀行通帳、四千餘圓記入の郵便貯金通帳と白米百二十俵の出荷証券を窃取しその儘自動車で平町に來たり前記の始末と判明、嚴重説諭の上一先づ親元へ引渡した

### 湯本町の水道工事

#### 十月頃竣工の見込

全工程が順調な進捗で  
豫定よりも三ヶ月早く

石城郡湯本町の上下水道敷設工事は昨年六月の起工後水路方面その他全線に亘つて順調な進捗を見せ目下浄水、濾過排水各池の工を急いでゐるが配水池は今五月一杯で竣工し浄水並に濾過池は八月末頃までに落成を見込んでゐるが其の譯である

### 明年の縣總會は

#### 平町で開催と決定

藤田榮助氏副團長に就任

縣聯合青年團總會は三日若松市に開催され明年の同總會は平町で開かれることに決定したが聯合青年團規約によれば副團長は總會主催地から選任されることになつてゐるので同副團長には前平青年團團長藤田榮助氏が推薦された、けふ藤田氏を訪ねると未だ正式の通知はありませんが推薦を受けた上は微力ながら専心縣青年團の向上のために盡したいつもりですと語つたが氏は多年平青年團團長として同町青年團のために盡力した人で同氏の副團長就任に平町の關係方面でもその敏腕を期待してゐると

### 親父の全財産を

#### 盗んで御大盡遊び

不肖の子、平署に捕はる

あつたが都合により十時から閉會式と同時に舉行されることに變更した

三日深更、平町町五料理店松の壽しと松本清之助方で盛んに札ビラを切つて御大盡遊びを極め込んでゐる青年を平署員が不審と睨み本署に引致取調すると右は双葉郡熊町村大字大澤澤田和子四四安之助九男佐々木重光(四)で最近まで東京でテニスをしてゐたが數日前突然歸郷し三日午後二時頃、父親の留守を窺つて警備を破壊し現金三百六十圓及び一萬二千圓記入の農工銀行通帳、四千餘圓記入の郵便貯金通帳と白米百二十俵の出荷証券を窃取しその儘自動車で平町に來たり前記の始末と判明、嚴重説諭の上一先づ親元へ引渡した

### 赤ちやんに

#### 暖かい牛乳を

乳幼児愛護週間に  
牛乳協會石城支部が

二日から八日まで全一週に亘り行はれてゐる第六回乳幼児愛護週間に平町では要所々に趣旨宣傳のポスターを貼り各小學校でも醫師會と協力して

### 不穩ビラの夜

#### モーデーの夜

平署で犯人捜査中  
モーデー當日の一日夜、内郷村、平町方面に約三百枚の不

不景氣時代の副産物として工費請負金不拂ひの説諭書二つ湯本町大字湯本宇天字崎四二蔵職戸倉重次郎は昨年十月平町立町一羊羹製造業緑川太次郎方住宅一棟、工場一棟の揚前及び基礎工事を三百三十五圓餘の契約で請負つたが右

### 警中修學旅行

#### 演奏曲目

警中四年生二百名は根本、谷澤、下平、大村、橋本の各教諭に引率され九日午前五時十分平津渡列車で關西旅行に向ふが旅程一週間、十五日午後七時五十二分平津渡列車で歸平の豫定である

また小名濱町宇本町二二濱宮源助は昭和四年二月及び五年一月の二回に亘り同町宇本島上丁七一土木請負業草野數馬に千五百三十圓の契約で家屋建築を依頼し竣工後千二百圓を支拂ひ残金三百十三圓は言を左右にして支拂はぬ許りか自家所有不動産に抵當權を設定したのは支拂ひの意志なきものに相違ないとして草野は濱宮に對し説諭方を四日何れも平署へ願ひ出た

修學旅行通信  
警中四年生旅行團  
第六信  
一日午前十時濱津渡を發し江の島へ向つた。昨日の雨天に引かへて今日は又絶好の日和、赤土の山々に緑の縞を描く菜畑、白色に匂ふ梨畑を次々と展開させて汽

### 請負金を支拂はぬ

#### 横着な工事者へ説諭願

之も不景氣時代の反映  
二棟のうち工場の方は基礎工事が不完全なためか竣工後間もなく倒壊してつたので緑川はそれを理由として工事費二百七圓を支拂つた許りで餘の百二十七圓餘は再三請求したが支拂はぬからとて戸倉から緑川に對し殘金仕拂ひの説諭方を

容を見てゐるではないかげに「自願倒壊東海天」である、中腹にたなびく白雲遙か紫にかすみ三保の松原昔天女の天下りたるといふことも窺はれます、なだらかな曲線を描く裾野を見ればそぞろ昔の富士の巻狩が偲ばれます、國府津へと到着した、小田原電鐵も珍ら

居ります



陸稲一栽培  
奨励栽培  
(五)

木橋 技手

前年陸稲生産関係試験  
(反常収量一ヶ年平均)  
依園地一石二斗一升四合  
保肥跡(サトウキビケン)  
一石三斗五升三合、大麥跡  
一石二斗九合、  
陸稲連年試験(反常収量四  
ヶ月平均)連作區一石一斗  
五升六合、大豆と輪作區一  
石三斗一升二合、  
即ち前年の種類により土地  
の肥瘠に差異あるべきを以て  
陸稲の施肥量に注意する、然  
れども陸稲は毎年之れを連作  
すれば雑草繁茂の度を増し地  
力減耗し或は病虫害の発生多  
くなり、その柳が困難に際  
り易きを以て適宜に輪作する  
のを可とする、普通陸稲年に大  
小豆又は甘藷に輪作し或は野  
菜類殊に根菜類と数年置きに  
交換栽培するを要する、又輪  
作には非ざれども大豆と陸稲  
とを一畦置きに作付ける時は  
地方を維持し又は草害を防止  
する効大なるものがある、即  
ち左表の如く單作に比して何  
れも収量が多い  
大豆陸稲混作試験(三ヶ年  
平均)反常収量、  
陸稲單作區二石四升一合、  
陸稲大豆混作區陸稲一石八  
升六合、大豆九斗五升八合  
大豆單作區一石七斗一升八  
合、  
四、品種、陸稲栽培上適  
種を得ざることは普及上大な  
る障害と認めべく農事試験場  
に於ては品種改良に努めつ、

あり既に田一號及び別號  
一號を奨励品種として原種を  
汎く配付し其の普及を圖つて  
ゐる、

印刷物は「  
一彩麗な  
ポイントにて  
良く安く早く  
一般の御注文に應じます  
平町大町  
新しいわき印刷部

元 詰 G.H.N  
ス ペ イ ン 葡 萄 酒  
甘 味 葡 萄 酒  
ゴ ル フ ポ ー ト ワ イ ン  
Y 1-10  
御婦人の方には少し水を加へて  
召しませ風味一層佳です  
(平二) 西 村 屋 薬 舗 (電三)

恐怖時代の  
動脈硬化症  
豫防及治療 新薬  
アイソリ錠  
試用 二圓  
大 中 六圓  
廿圓

發賣以來  
白熱的に  
歡迎せらる  
特約店  
山野邊薬局  
平町五丁目

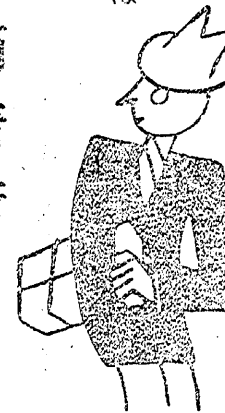
開店の街挨拶  
福島貯蓄銀行は眞の庶民金融機関と  
して最も簡便に貯金の機會を得て實  
行し得る様各地に代理店を設置し着  
々よき成績を擧げて居ります我々平町  
は海岸地方に於ける經濟界の中心地  
にして往年各位の御引立を蒙り相當  
の實績を見たので今般大蔵大臣の認  
可を得まして左記の處へ福島貯蓄銀  
行平支店を新設して四月十四日  
より開業致しました何卒多少に拘ら  
ず御引立の程を願上ます  
平町田町壱番地  
株式會社 福島貯蓄銀行平支店  
電話三〇八番

諸君下シの大妙薬  
安流丸  
特約店 山野邊薬局  
平町五丁目

伸町に洋服店が出来ました  
工賃本位が弊店のモットー  
正確と 追従を許さぬ勉強  
迅速他の 平町一五番地  
最新流行 洋服調製  
信夫屋洋服店  
店主 齊藤 平一

債券、公債、兩替、金融  
田多井質店  
平町大工町  
電話五九一番

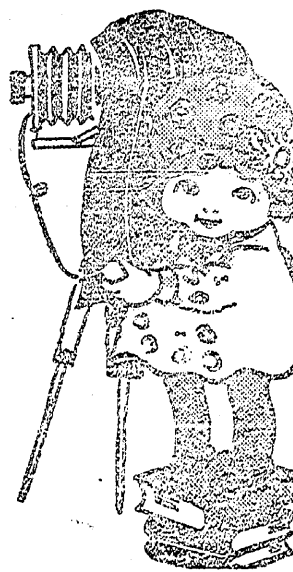
模範 裁縫  
高島屋洋服店  
平町壱番地 電話三八六番  
冬服の  
御用命は  
高島屋へ  
新柄着荷



平町 市原醫院  
内科 外科 小兒科 梅毒 淋病  
電話 五〇七番  
藤沼醫院  
平町 電話 五〇七番

眞寫  
花と博覽會に  
御出での御記念  
お望みの背景にて  
御用命はぜひ  
公園表坂の 三光館へ  
入院應需  
明雲堂眼科醫院  
平驛前(電話六六九番)  
自炊の更あり

外科(内蔵外科) 醫學士 松永憲一  
産科、婦人科 院長 木村寅次郎  
平町新川一  
電話一六四番  
木村病院



よろこびますか  
うチりませうよ  
中島寫眞館  
平町字田町

皆様の  
高橋時計店  
平町搔樋小路二九  
(元は土橋通り精華堂)